



## ■■■ 平成28年度共同利用研究採択課題決定 ■■■

～ 平成28年度第1回拠点運営委員会開催 ～

7月14日に開催された平成28年度第1回拠点運営委員会で国内共同研究課題48件、国際共同研究課題8件の採択が決定しました。一般研究、研究会、平成26年度から始まった国際共同研究の4つの枠組みに対して申請された課題から、共同利用研究委員会および教員会議での審議を経て承認されたもので、今年度は特に、国際共同研究の採択件数が伸び、その研究成果が期待されるところです。共同利用研究等の詳細は、当センターウェブサイトの [共同利用ページ](#) に掲載しております。採択課一覧も合わせて下記をご参照ください。

採択課題一覧：<http://www.cr.chiba-u.jp/Documents/Koubo/collaborativeresults-H28.pdf>

## ■■ 本郷千春准教授、あかりんアワー7月イベントに登場 ■■

～ 千葉大の世界的研究シリーズ 第1回 ～

7月1日に西千葉キャンパス附属図書館1階プレゼンテーションスペースにて、「千葉大学で行われている最先端の研究がわかる30分。」千葉大の世界的研究シリーズ第1回」に当センターの本郷千春准教授が「宇宙からアジアの農地を見つめるー収量予測、損害評価そして持続的食料生産へー」と題して講演を行いました。近年、特に激しさを増す気候変動の影響で干ばつや水害などが頻発し、アジアの農業にとって厳しい時代になってきました。そこで、気候変動の適応策である農業保険制度の中核である損害評価を効率的に実施するための新しい手法を確立し、評価手法を農業保険関係者に社会実装することで、生産者の経済的損害の軽減や農業生産への支援体制を確立し、食料安全保障の実現につなげていきたい、という研究への思いを話しました。この取組は、[ニュースレター5月号](#)でのSATREPSでも紹介しています。

※お申し込みは不要です。どなたでも自由にご参加ください※  
**1210あかりんアワー 7/1**  
 附属図書館N棟1階  
 プレゼンテーションスペース **(金)**  
**12:10-12:40**  
 千葉大学で行われている最先端の研究がわかる30分。  
 千葉大の世界的研究シリーズ 第1回  
**宇宙からアジアの農地を見つめる**  
 ー収量予測、損害評価  
 そして持続的食料生産へー  
 プレゼンター：  
 CHIBA UNIVERSITY **本郷 千春先生**(環境リモートセンシング研究センター)

## ■ TEI-CEReS Atmospheric Research Meetingの開催報告 ■

今後の国際共同研究の拡充の一環として、6月28日に千葉大学環境リモートセンシング研究センターにて、TEI-CEReS Atmospheric Research Meetingを開催致しました。TEIとはThailand Environment Institute (<http://www.tei.or.th/about/index.htm>) のことで、タイにおける新たな環境政策のためにタイ科学技術環境省のOffice of Environmental Funds (環境基金室)により設立された非営

利独立法人です。1) 環境計測の普及とそのための技術開発、2) 環境問題の国民への啓発、3) 環境に関する諸問題と予想される災害を関係政府機関へ勧告、4) 環境問題に関する国際協力の促進並びにNGOの支援 がTEIの当面の活動の方針として挙げられています。我々が中核となって国際展開しているSKYNET国際地上リモートセンシング観測網において、タイ側のカウンターパートであるThanawat先生がTEIの所長に就任され、本会合ではその紹介とともに、今後の国際共同研究の方向性について活発な議論がなされました。CEReSから8名（安岡センター長を含む）、TEIから3名（Thanawat所長を含む）、JAXA/EORCから1名（中島センター長）が参加され、大変内容の濃い会合となりました。今後は、タイ・SKYNETピマイサイトを軸に、SKYNET観測網のタイ国内への展開を目指します。本会合にご参加、ご協力頂いた方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

(入江仁士)



(左) TEI-CEReS Atmospheric Research Meeting の写真。(右) SKYNET 千葉サイトの見学の様子。  
右から2人目が Thanawat 所長。



## 平成28年度新人歓迎会開催

7月21日に毎年恒例のCEReS教職員と学生の顔合わせ会を行いました。今年度は、前年に比べて学生数は減ったものの、下の表に示すように外国人留学生数はほとんど変わらず、その割合は50%を超えました。例年使用する工学部松韻会館が改装中につきCEReS講義室での開催だったためか、さすがにすし詰め状態でしたが、学生主導による準備のおかげで、留学生の手料理やら盛りだくさんの内容で、充実した交流会となりました。

専任教員	客員教員	特任教員	特任研究員	グランドフェロー (研究機関研究員)	講師 (研究機関研究員)	非常勤講師	非常勤職員	研究生	D3	D2	D1	M2	M1	B4	総計
9 (1)	2 (0)	6 (1)	2 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (1)	12 (0)	2 (2)	13 (12)	8 (7)	7 (5)	14 (7)	12 (3)	16 (2)	
35 (4)								72 (38)							107 (42)

( ) 内の数字は外国人の人数

平成28年5月1日現在